

1 PLAN(目的・概要)

その他経常業務

政策名	交流・環境		責任者	企画調整室 環境担当課長
施策名	良好な港湾環境の形成		連絡先	052-654-7819
事務事業名	環境マネジメントシステム(EMS)の運用		連携先	
目的	対象(誰・何を)	本組合における環境負荷	事業期間	平成15年度～継続
	意図(どういった状態にしたいか)	継続的に低減し、環境目標を達成します。		
概要	本組合において環境目的・環境目標を設定し、職員の環境意識向上を図るとともに、環境に配慮した施策を推進するなど、EMSを運用します。		根拠法令等	
28年度の実施予定	名管独自のEMS「名管EMS」で運用を行います。 監視・測定として四半期ごとに各推進員から記録書の報告を受け、12月に職員相互による環境監査を実施します。 取組結果については本組合ホームページにて公表します。		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
			関連シート	

2 DO(実施)

コスト	単位	26年度	27年度	28年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	38	200	0	79	事業費:平成27年度は、環境監査員養成研修(2年毎に実施)に係る委託料を計上したため増加していましたが、平成28年度は研修未実施のため、事業費の計上はありません。
人件費	千円	6,607	6,243	3,584	5,478	
合計	千円	6,645	6,443	3,584	5,557	

3 CHECK(検証)

指標名		26年度	27年度	28年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因	
各種研修の対象職員受講率(%) (単年度管理型)	目標	100	100	100		100	EMSマニュアルで定めている各種研修の対象職員の受講率を算出します。		
	実績	100	96	98					
事業進捗状況(28年度)				目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る				
指摘事項件数(件) (単年度管理型)	目標	-	0	0		0	環境監査において、指摘事項を受けないよう、EMSの適切な運用を目指します。		
	実績	-	0	0					
事業進捗状況(28年度)				目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る				
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	職務の都合により、研修を受けることができなかった職員がいたため研修の受講率は98%となっていますが、次年度受講する予定です。 また、環境監査における指摘事項件数は0件であり目標は達成されました。								
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明							
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○	温室効果ガス削減のための地球温暖化対策実行計画を推進するためには必要な事業です。						
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○							
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○	各種研修の対象職員受講率は概ね目標に達しており、職員の環境意識の向上に伴い環境に配慮した施策が推進されてきた結果、“第3次実行計画”における温室効果ガス総排出量は、削減目標を大幅に上回りました。したがって、良好な港湾環境の形成に貢献しております。						
	期待どおりの成果が得られているか?	○							
効率性	最小のコストとなっているか?	○	本組合独自のシステムを導入したことにより、効果的に運用しております。						

4 ACTION(取組)

課題	29年度以降の取組
職員の環境意識向上に必要な研修の受講率100%を目指し、調整する必要があります。	環境監査員養成研修、幹部職員研修等を行い、職員の環境への意識向上を図ります。